

住宅用火災警報器のお手柄事例

暖房器にタオルケットが接触し発火



2階寝室にいた家人が、1階からの警報音を聞き下りてみると、暖房器に接触したタオルケットから出火し、居間の壁が燃えているのを発見。洗面器に水を汲んで2~3回かけて初期消火を行ったためぼやですんだ。

夜間に台所からの出火



妻が1階リビングで就寝中、住宅用火災警報器の「火事です」という音に気づき目を覚ました。リビングには煙が充満しており、隣の台所では家庭用精米機とその周辺が燃えていた。夫を起こし、水道水を掛け消火成功。妻は2階にいる子どもを避難させ、家族全員が無事であった。